

2003

松江附近戦闘詳報

(第七號)

國崎支隊

自昭和十二年十一月八日
至昭和十二年十一月十三日

吉野
松橋
北松橋
附近、戦闘

自十一月八日
至同 十日

松江附近戰鬪詳報

其一 松江附近ノ戰鬪

戰鬪前彼我ノ一般態勢

音午後大雨

一、支隊（五日午前十時四十分金山衛城占領後歩兵第四十二聯隊第三大隊（第九中隊欠）（旅團無線機ヲ附ス）ヲシテ同地ヲ守備セシメ主力ハ同日夕金山衛城―家塚―呂港鎮―金山道ヲ金山西方面地區ニ向ヒ前進セントセシカ朱家附近ノクリーク上ノ橋梁破壊セラレ且暗夜ト豪雨トノ為道ヲ失シ同夜達ク大石橋北倉間ノ地區ニ達シ宿營ス此間歩兵重火器ノ一部ハ前記道路ニ沿フ水路ヲ金山ニ向ヒ前進シ主力ト連絡ヲ失ス茲ニ於テ支隊ハ六日主力ノ前進路ヲ變シ大石頭―長堰鎮―松陰鎮―金山道ヲ歩兵重火器ノ大部及山砲兵聯隊ハ本道路ニ沿フ地區ヲ水路ニ依リ金山西方地區ニ向ヒ前進ス

六日 曇
七日 雨

六日夕三治址ニ到着シ翌七日午前七時五十分三治址ニ
於テ九記命令ヲ無線ニ依リ受領ス
大師作命甲第五四號

第六師團命令

十一月六日 五時
於區巷鎮

(一) 右先遣隊ハ六日午後三時一部ヲ以テ南庫嶺ヲ占領シ
主力ヲ以テ其東南ニ將李家村ニ集結シ明七日午
前所命ノ線ヲ占領ス

前面ニハ若干ノ敵兵アルモ大ナル妨害ヲ受ケス
國崎支隊ハ六日午後八時松陰鎮西方四軒三治址
ニ達シ渡河準備中ナリ

尤先遣隊ハ一部ヲ以テ六日午後九時金山南側ニテ
渡河金山ニ在ル敵ヲ攻撃準備中

(二) 師團ハ明七日速ニ北黃浦江北岸ニ前進セントス

(三) 國崎支隊ハ明七日右先遣隊ノ右翼ニ連繫シ吉祥

汗ヨリ鐵道線路北側ニ亘ル間ヲ占領シ黄浦口鐵道ヲ
遮斷スヘシ

(四) 尤先遣隊ハ明七日金山奪取後速ニ國崎支隊ノ九翼
ニ連繫シ史家村ノ線ヲ占領スヘシ
(五) 予ハ明早朝呂巷鎮出發師團本隊ト共ニ金山ヲ
經テ南庫ニ向ヒ前進ス

師團長 谷中將

下達法

無線ヲ以テ命令ス

ニ支隊ハ水路前進セシメタル歩兵重火器ヲ掌握スル為
一先ツ金山ニ向ヒ前進スルニ決シ午前八時三拾址
出發同九時十分金山ニ到着シ同九時三十分同地ニ到着
セル第大師團尤先遣隊長坂井少將ト面接連絡ス
坂井旅團ノ金山出發ハ民舟蒐集並ニ金山西側クリ
ク渡河ノ為今ヨリ約十時間ヲ要ストノコトヲ承知ス

2

支隊カ坂井旅團ノ後方ヨリ同一緒ヲ前進スルニ於テハ
 著シク時刻遅延スルヲ以テ別路ヲ採ルニ決ス午後一
 時三十分第六師團長來著決心企圖ヲ報告シタル後
 午後二時出發金山東端―王草塘―陸庄東方無名
 部落道ヲ北前ニ伺ヒ前進ス途中黃浦江支流ヲ
 渡河スルコト一回八日午前九時陸庄東北方黃浦
 莊南岸ニ於テ別紙作命第一二三號ヲ下達ス
 當時歩兵重火器ノ一部即チ聯隊砲速射砲第二大隊
 大隊砲並ニ山砲聯隊師團有線小隊ハ七日金山附近ニ於テ
 之ヲ掌握シタルモ再度舟行セシ爲未タ追及スルニ至ラス

國作命第一三三號

國崎支隊命令

十一月八日午前九時
於陸軍省方黃箱江受電南岸

一 吉祥圩附近ニハ一部ノ敵兵在ルカ如シ

第六師團先遣隊ハ主力ヲ以テ南庫茨附近、一部ヲ以テ吳宅基ヨリ唐子茨ニ亙ル間ヲ占領シアリ

同師團左先遣隊ハ東山涇ヨリ史家村ニ亙ル間ヲ占領スル等

ニ支隊ハ吉祥圩西南方クリーク右岸ヲ占領シ第六師團主力ノ進出ヲ掩護セントス

三 歩兵第四十一聯隊(第八中隊及第三大隊ヲ缺キエ兵ニ小隊ヲ屬ス)ハ右先遣隊ノ左側ニ連繫シ一部ヲ以テ北前北方クリークノ線ヲ、主力ヲ以テ鐵道線路附近クリークノ線ヲ占領スヘシ

狀況許セハ右翼ヲ以テ吉祥圩附近ヲ占領スルヲ要ス

エ兵ニ小隊ハ支隊渡河後進及セシム

四 山砲兵聯隊ハ部隊到着後新吳西方ヨリ北塘邊ニ亙ル間ノ地區

ヲ射撃シ得ル如ク北前附近ニ陣地ヲ占領スヘシ

其衛生隊ハ新聞河ニ繙塔所ヲ開設スヘシ

六、第八、第九中隊ハ豫備隊トス新聞河ニ位置スヘシ

但シ第九中隊ノ一小隊ハ支隊渡河終了後舟艇ヲ工兵小队ヨリ
受領シ長浜西方クリーク集合點ニ集結スヘシ

七、歩兵第四上聯隊ハ支隊本部ト聯隊本部間ニ通信網ヲ構成スヘシ
八、予ハ新聞河ニ位置ス

支隊長 國崎 少將

下達法

各隊命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

第一線ハ更ニ黃浦江支流ヲ渡河シ各當面ノ敵ヲ攻
撃シ正午乃至午後二時ノ間吉祥坪南方クリークヨ
リ鐵道橋ニ亘ル線ニ進出シ同線ヲ占領ス

右先遣隊方面ニハ七日頃ヨリ斷續シテ稍激烈ナル
銃聲ヲ聞ク又左先遣隊ハ正午過ヨリ逐次支隊ノ左
方ニ進出シ來レリ

午後三時頃ヨリ張庄附近鐵道線路ノ敵ヲ攻撃シ同
夕刻之ヲ占領ス

支隊ハ同夜現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ徹スルニ決シ且
將來ノ前進ヲ顧慮シ陣地前クリーク對岸ニ據臬
ヲ占領セシメ附近ノ小舟蒐集ニ勉ム追及中ノ歩兵重
火器山砲兵聯隊其他ノ各行部隊ハ此夜長決クリーク
ニ達ス

支隊本部ハ新開河ニ位置ス

三年後十一時九記六師作命甲第五六號ヲ受領ス

第大師團命令

十一月八日
在調船決

(一) 師團ハ明九日北方地區ヨリ敵ヲ擊破シツ、松江東北方地區ニ進出セントス

(二) 國崎部隊又坂井西部隊ハ午前七時第一線出發シ重兵ヲ屯ニ保持シ攻撃前進スヘシ

但シ國崎部隊ハ一部ヲ以テ鐵道線路北側ニ沿フカ如ク攻撃セシムルヲ要ス

又坂井部隊ニハ明朝山砲一小隊ヲ張庄西方於テ配屬ス

(三) 西隊戰鬪地境尤ノ如シ

楊家村大橋頭陳逢濱薛家灣南方ノ線トス

(四) 右先遣隊ハ明拂曉現在線ヲ撤シ唐子濱西側クリ、一クニ至リ豫備隊ニ合スヘシ

1188

(五) 予八午前七時現在地出發唐子濱ヲ徑テ左翼後
ヲ前進ス

第六師團長 谷中將

下達法 國崎支隊ハ電報

ニ右第六師團命令ニ基キ左記國作命第百二十四號ヲ
下達ス

國作命第三四號

國崎支隊命令

十一月九日午前零時四十五分
於新開河

一、飛行機ノ通報ニ依レハ松江附近ノ敵ハ全面的ニ西北方ニ退却中ナリ

第六師團ハ明日九日北方地區ヨリ敵ヲ撃破シツ、松江東北方地區ニ進出ス

ニ、支隊ハ明日九日重點ヲ左ニ保持シツ、當面ノ敵ヲ攻撃シ松江東端ノ線ニ進出セントス

右先遣隊ハ明日拂曉現在ノ線ヲ撤シ唐子浜西側クリークニ於テ師團豫備隊ニ合スル筈

左先遣隊トノ戰鬪地境ハ楊家村、六橋頭、陳涇浜、薛家慢ヲ連ヌル線トス

三、歩兵第四土聯隊（第三大隊ヲ缺キ工兵一小隊半ヲ附ス）ハ午前七時現在線出發重點ヲ左ニ保持シ當面ノ敵ヲ攻撃シ松江東端ノ線ニ

進出スヘシ

但シ鐵道線路北側地區ハ一部ヲ前進セシムルヲ要ス

四山砲兵聯隊(エ兵半小隊ヲ附ス)ハ午前六時三十分迄ニ北前附近ノ陣地ヲ占領シ主トシテ第一線左翼方面ノ攻撃ニ協カスヘシ

爾後第一線ノ前進ニ伴ヒ先ツ鐵道線路北側ヲ松江北方地區ニ前進スヘシ

火砲運搬用ノ舟艇ハ北前北方クリークヲ前進セシムルヲ要ス

五隊備隊ハ午前六時五十分出發準備ヲ完了シ爾後鐵橋ヲ經テ左

大隊ノ後方ヲ前進スヘシ

六師團有線小隊及衛生隊ハ豫備隊ト共ニ行動スヘシ

セ予ハ午前セ時現在地出發第一線ノ左翼後ヲ前進ス

支隊長 國崎 少將

下達法

各隊命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

九月
晴

戦闘經過

三午前五時第一線ハ守備線ヲ出發シ吉祥圩及北隸澤ヲ
占領セル敵ニ對シ攻撃前進ニ移ル 支隊司令部モ
亦同時新開河出發鐵道橋西端ニ向ヒ前進シ同
七時三十分同所ニ在リシ歩兵聯隊本部ノ位置ニ至ル
第一線山田部隊ノ豫備隊ハ未タ鐵道橋西側ニアリ
同時頃坂井旅團ノ第一線ハ前面クリーク渡河不
能ノ故ヲ以テ支隊ノ戰鬥地境內ニアル鐵道橋ニ依ラ
ントシ同鐵橋西側地區ハ之等ノ部隊ニ依リ一時相當螺
集ハ敵ハ迫撃砲ヲ此地區ニ集中シ其彈着ハ豫想
外ニ正確ナリ
午前五時三十分頃山砲兵聯隊ハクリークニ依リ前
進シ得ルノ狀況ヲ知り直ニ之ヲ招致シテ鐵道橋附
近ノ陸地ニ進入シ第一線ニ協力セシム

第一線部隊ハ敵、逐次ノ抵抗ヲ撃破シテ、午前十時
ニ新濱南村ノ線ノ約一旅ノ敵陣地ヲ攻略シ同線
ニ進出ス敵ハ鐵道線路及其兩側地區ヲ松江方向
ニ退却ス

第一線中鐵道線路南側地區ハ吉祥圩攻路後攻撃
ノ進捗比較的容易ナリシモ鐵道北側地區即チ左
第一線方面ノ敵ハ松江西端附近ノ各家屋ニ銃眼ヲ
穿テ堅固ニ防禦シ兇強ニ抵抗ヲ續クル爲メ奪取
スルニアラサレハ攻撃ノ進捗意ノ如クナラス依テ一時重実ヲ
茲ニ移シ先之レヲ攻略スルニ決シエ矣小隊ト協力シ爆破
手榴彈戰白兵戰等カ線大ニ努メ午後二時五十分終ニ之ヲ
奪取ス茲ニ於テ再度攻撃部署ヲ改メ聯隊豫備中ヨ
リ第四中隊ヲ出シテ松江西端ヨリ逐次ニ城外市外ノ掃
蕩ニ任セシメ左第一線大隊ハ其重點ヲ曹上濱ニ

移シ午後三時所命ノ如ク攻撃ヲ再行ス

松江市街南側鐵道線路以南地区ハ攻撃比較的進
捗シ午前十一時三十分祝家塘ノ線ニハ午後二時乃
至二時三十分頃三元宮東側クリークノ線ニ進出
セシカ前面クリークト松江城壁西南方ヨリスル敵
ノ側刻ノ為前進困難トナル然ルニ右第一線ノ攻撃
地區以南ニアリシ優勢ナル敵兵楊家壘東南方地區
ヨリ第一線ノ右側脊ニ向ヒ進出シ來リシヲ以テ同大
隊ハ重火器ノ主力及小銃ノ一部ヲ右側ニ展開シ之
ヲ撃攘セシモ次テ再ヒ同方向ヨリ優勢ナル敵ノ
攻撃ヲ受ケ一時苦境ニ陥リシカ終ニ之ヲ撃退ス
敵ハ多クノ死傷者ヲ遺棄シ東方ニ退却ス
同大隊ハ一部ヲ以テ鐵道線路北側ヨリ城壁ノ敵ヲ
攻撃センメ主力ハ日没ト共ニ大濱橋方向ニ向ヒ前進

ス

山砲兵隊三八午前十時三十分水路ヲ馬先唐蘇路附
 近ニ陣地交換ヲ命シ且山砲一小隊(一分隊ヲ欠キエ矢ニ
 分隊ヲ附ス)ヲ第六師團ニ配屬スヘキヲ命ス同隊ハ午
 後一時三十分鐵道橋附近ノ陣地ヲ撤シクリーク上ヲ
 馬先唐蘇路ニ向ヒ前進ス午後四時三十分頃豫定
 地ニ達セシモ第一線トノ連絡竟ノ如クナラス遂ニ日没
 トナル又衛生隊ハ午前十時頃北埭濱ニ繙繙所ヲ開
 設シ傷者收容中、午後第一線ノ前進ニ伴ヒ松江西端
 ニ繙繙所ヲ進メ傷者ノ收容ニ任ス
 午後四時四十五分迄記要旨ノ師團命令ニ接ス

ハ師團ハ主力ヲ以テ青浦ニ向ヒ轉進ス

三國崎支隊ハ松江ヲ占領シ後命ヲ待ツヘシ

右第一線部隊ハ夜ニ入ルト共ニ渡河材料ノ蒐集意
 ノ如クナラス甞橋ニ至ルクリークノ爲行動頗ル困
 難ナル爲意外ノ時間ヲ要セシモ泥土濱西方クリ
 ークハ工兵小隊ノ架橋ニ依リ渡河シ午後十時乃至
 十一時第一線ハ大濱頭泥土濱東方クリークノ線
 ニ進出ス

支隊長ハ松江ニヨリテ兵力ヲ二分セラレタル現況ニ
 於テ速ニ松江ヲ奪取スルニアラサレハ明拂曉迄ノ戦
 斗指導頗ル困難トナルヘキヲ判断シ夜ニ入ルモ依
 然攻撃ヲ續行セシメ支隊ノ攻撃目標ヲ北門及西
 南門ニ選定シ別紙作命第百二十五號ヲ下達ス

國作命第三五號

國崎支隊命令

十一月九日午後十一時
於 泥 止 際

一、當面ノ敵情ハ諸官ノ知ル通り

上海方面ノ敵ハ全般的ニ青浦方面ニ退却中ナリ

師團ハ國崎支隊ヲシテ松江ヲ占領セシメ主力ハ青浦ニ向ヒ
轉進ス

ニ、支隊ハ本夜依然攻撃ヲ續行シ先ツ松江ヲ占領セントス

三、第一線部隊ハ攻撃ヲ續行シ成ル可ク速ニ北門及西門ヲ占領シ

一部ヲ以テ邊クモ明拂曉迄ニ東門附近ニ進出セシメ敵ノ退路
ヲ遮断スヘシ

四、山砲兵隊ハ日没ト共ニ陣地ヲ撤シ松江西端附近ニ村落露落等

ヲナシ明拂曉攻撃ヲ顧慮シ午前六時迄ニ泥土俟西南方本

道附近ニ陣地ヲ占領シ北門附近ニ對シ砲撃ヲ進脩スヘシ

五、豫備隊ハ現在地ニ位置スヘシ

尚泥土決ヨリ湖上決ニ進出スヘキ道路ヲ偵察シ置クヘシ
 六衛生隊ハ現在地ニ繙帯所ヲ開設シアルヘシ
 又、予ハ泥土決ニ在リ後攻撃前進ニ伴ヒ左第一線大隊ノ後方ヲ
 前進ス

支隊長 國崎 少 將

下達

各隊命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

當時在第二線ハ主力ヲ以テ南門外ヲ前進中ナリシヲ以テ一部ヲ以テ西門ニ向ハシメ主力ハ依然前進ヲ繼續シ左第一線ハ北門ニ對シ概ネ正午ヲ期シ突入スヘク攻撃準備ヲ進メ前進中同門外ニ於テ手榴彈ヲ以テスル數回ニ亘ル逆襲ヲ受ケ白兵戰ヲ現出シタルモ遂ニ敵ノ大部ヲ殲滅シ續イテ北門ニ突進シ午前三時三十分同門ヲ占領ス

右第一線ノ一部ハ午前三時僅少ナル敵ヲ駆逐シ西門ヲ占領シ主力ハ拂曉東門南方停車場ニ進出ス爾後第一線ハ城内ノ掃蕩ヲ續行シ午前十時完全ニ之ヲ完了ス

四、敵ノ團體號及兵力

△砲ヲ有スル第一、第一〇七、第一〇八師ナリ

五、敵ノ遺棄死体 約二〇〇〇名、内旅長ノ死体ヲ發

2222

見セリ
六死傷表釋藥損耗表
如シ
鹵護表附表第一乃至第三ノ

21

0023

十月十一日
晴

十月十二日
晴

戦斗前ノ概況

其二 北橋鎮附近ノ戦斗

一支隊ハ東方ニ退却セル敵ヲ追撃セシメ且情況之ヲ許セハ上海派遣軍第一線部隊ト連絡セシムル爲歩兵第二大隊(ニテ中隊欠旅團無線一機ヲ屬ス)ヲ北橋鎮ニ派遣シ其一部ヲ以テ閃行ヲ占領セシム

該大隊(配屬部隊共)ハ十一日午前七時三十分出發北橋鎮ニ向ヒ急行シ途中馬橋鎮附近ニ於テ少數ノ敵ヲ撃退シ午後二時三十分北橋鎮ヲ占領シ部落ノ四周ニ對シ工事ヲ施シ夫々警戒配備ニワキ宿營ス

戦斗經過

十二日午前三時四十五分松江ニ通スル本道ヲ警備シアリシ第五中隊ニ對シ本道上ヲ約五百名ノ敵兵襲撃シ來ル中隊ハ直ニ陣地ニ就キ應戰西南

12

北ノ三方ヨリ、包圍シ來リタルヲ以テ大隊ハ全カヲ
 擧ケテ豫定ノ陣地ニ就キ之ニ應戦ス敵ハ前後セ回
 ニ直リ密集集体形ヲ以テ襲撃ス大隊ハ抵抗戦ヲ固守
 シ主トシテ火力ニ依リ其大部ヲ殲滅ス午前八時頃
 ニハ既ニ彈藥ヲ射耗セシカハ時四十分頃ニ至リ敵ハ遂
 ニ目的ヲ達スル能ハス三々伍々東南方及西方ニ潰走セリ
 支隊ハ報告ニ接シ直ニ大隊ノ残部タル第七第八中隊
 及山砲兵一中隊（一小隊欠）並衛生隊ノ一部ヲ派遣シ増
 援セシモ既ニ戦斗終了後ナリキ

二、敵ノ部隊號 第二十九軍第百三十二師及独立第四十五
 旅

矢 力
 殲棄死体

約五〇〇名
 少クモ二〇〇

三、死傷表、殲棄損耗表並鹵護表ハ附表第四乃至第六ノ如

陸軍	十三日	晴	四北橋鎮―上海間ハ未タ交通ノ安全ヲ期シ得サル状態ナ リシヲ以テ山澤部隊ヨリ歩兵第六中隊(一小隊欠機関銃一 小队ヲ附ス)ヲ上海西南端附近ニ派遣シ上海派遣軍第一線 部隊ト連絡セシム該中隊ハ十三日午前六時三十分北橋 鎮出發上海西南端龍華鎮ニ至リ獨立工兵第八聯隊ト連 絡シ同日午後六時歸還ス之レヨリ上海―北橋鎮―松 江道間ノ交通ヲ開始スルニ至レリ
----	-----	---	--

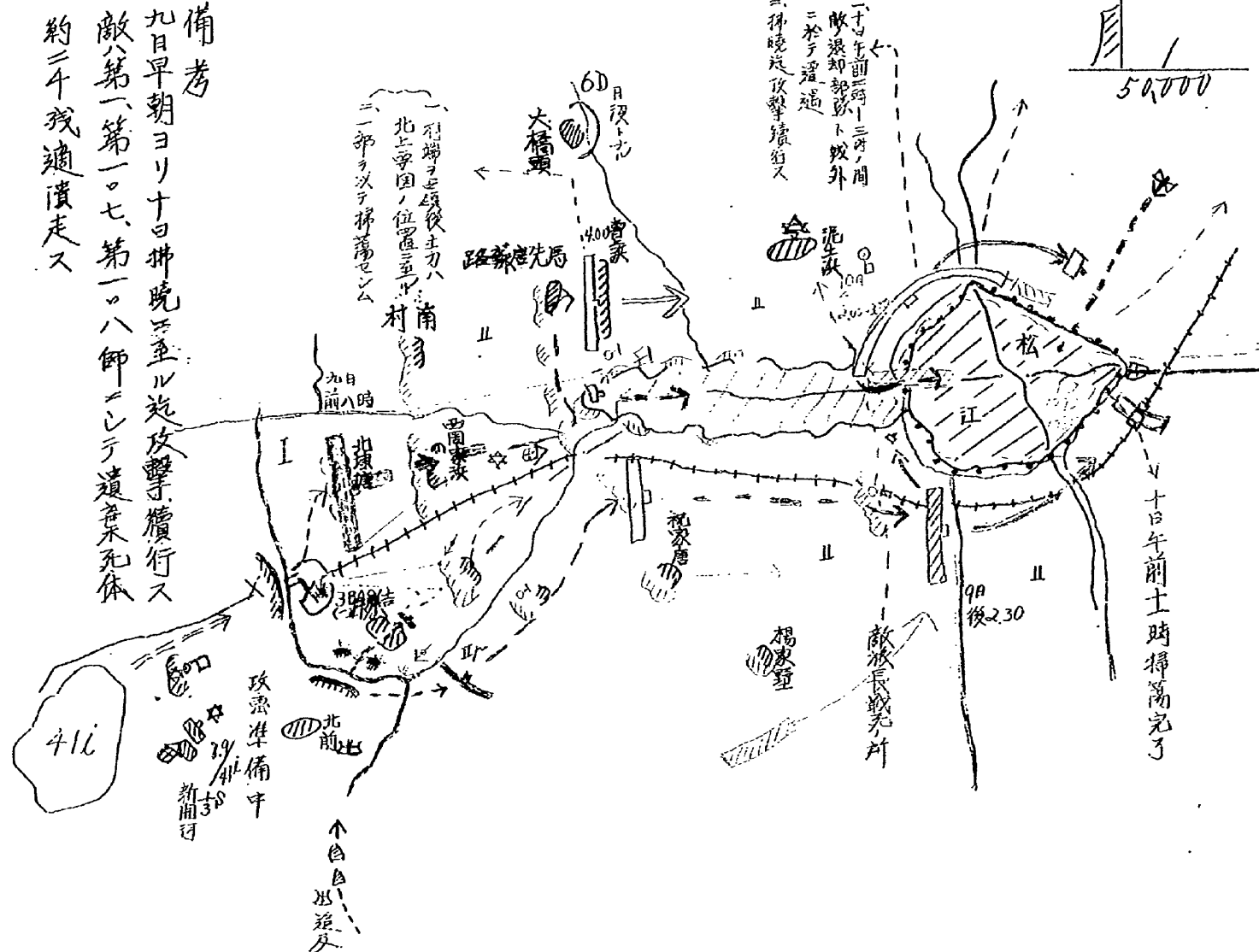
0026

入
帳
簿

0027

松江附近戰鬪經過要圖 (十一月十一日)

備考
一、九日早朝ヨリ十日拂曉ニ至ル迄攻撃續行ス
二、敵第一、第一〇七、第一〇八師ニシテ遺棄死体
約三千残遺潰走ス



附表第一

戦闘詳報第七號

昭和十二年十月十日 國崎支隊死傷表

隊區	分		戰闘参加馬	死	傷	生死不明
	號	分				
支隊本部	校	將	以下	匹	校	將
步兵第一聯隊	五	六	二	八	一	二
獨立山砲隊	一	九	二	〇	三	九
步兵第二聯隊	一	九	二	〇	三	九
第五師團有線隊	四	二	一	三	四	九
合計	一八	五	二	八	一	三
備考	一、負傷者中 獨立山砲隊一員 負傷後猶隊中ニ在リ 二、ハ非戦闘員ヲ示ス					

備考	合計	隊別				種類	備	損失
		歩兵第五聯隊	獨立砲兵第三聯隊	歩兵第五聯隊	砲兵隊			
	大 三〇	五 四	一 三	五 四	銃 小			
	19,296			19,296	銃 大			
	27,180			27,180	砲 隊 聯			
	八三			八三	砲 射 速			
	三 一 六 三			三 一 六 三	砲 山			
	六〇			六〇	彈 榴 手			
	三七			三七	筒 彈 擲			
	五			五	筒 煙 花			
	四		四		銃 拳			
	六三		六三		彈 榴			
	二		二		彈 散 榴			
	四			四	銃 小			
	一			一	筒 重			
					武器			
					彈 藥			

附表第二

戰闘詳報第七號

昭和十二年一月十日 國崎支隊武器彈藥損耗表

附表第三

戦闘詳報第廿號附表

戦闘詳報第貳號附表		昭和三年 自十一月八日 至十一月十日		松江附近 国崎支隊鹵獲表	
種別	俘虜	戦利品			
區分	將校以下	馬匹	迫重砲	鹿角砲	機關銃
員数	(五二八)	二五	一三	八	二
					(大) 五
					(三三)
					(八七八)
					(二〇二)
					(四)
					(三〇)
					無数
					彈藥

備考	備考
一、本表ノ外略号書四、自動車一ヲ鹵獲ス	
二、(一)ハ松江ニ於テ、自十一月十一日、同ニ投降セル人員並ニ其ノ兵器ヲホス、	
二、俘虜ハ第一、八師ニ属スルモノナリ。	
四、松江東門内兵器庫ニ於テ押收セル兵器別表ノ如シ。	

備考	合計	歩兵第1聯隊第1大隊 2中隊	隊別		戦斗参加人員	死	傷	生死不明
			別	分				
(一)内ノ数ハ非戦斗員ヲ示ス	三	三	校	將	戦斗参加人員	死	傷	生死不明
	四	四	下	士				
	五	五	匹	馬	死	傷	生死不明	生死不明
	六	六	校	將				
	六	六	下	士	死	傷	生死不明	生死不明
	六	六	匹	馬				
	一	一	校	將	死	傷	生死不明	生死不明
	一	一	下	士				
	一	一	匹	馬	死	傷	生死不明	生死不明
	一	一	校	將				
	一	一	下	士	死	傷	生死不明	生死不明
	一	一	匹	馬				

附表第四

戦闘詳報第七號

昭和十二年十月十三日 國崎支隊死傷表

備考	歩兵連隊第1大隊 (242)	隊區		種類	戦闘詳報第七號
		分	號		
	35180	銃小	彈	消	昭和十二年十一月十日 回崎支隊武器彈藥損耗表
	6110	砲	藥	費	
	19,000	砲	費	損	
	42	砲隊大	武器	損	
	93	彈榴	彈	藥	
	173	彈榴手	其他武器	失	

附表第五

2222

附表第六

戦闘詳報第七號

昭和五年一月五日 國崎支隊函復表

備考	員數	區分	種類
俘虜所屬部隊ハ第三十九軍第百三十一師及獨立第百五旅	三三	將校	俘虜
	七〇	下等兵	
		砲	
	二	重機	戦利品
	四	輕機	
	一〇	小銃	
	三〇	手銃	
	五		

支隊臨時配属將校職員表			
職	官	氏名	
主計	少佐	高橋素	
同	中尉	高橋逸夫	
大行李長	少尉	藤井石次郎	

支隊本部將校職員表			
職	官	氏名	
支隊長	少將	國崎登	
副官	少佐	安田一	
副官代理	尉	齊藤春義	
通信班長	大尉	茶谷虎次	

支隊臨時配属將校職員表			
職	官	氏	名
主計	少佐	高橋	素
同	中尉	高橋	逸夫
大行李長	少尉	藤井	石次郎

支隊本部將校職員表			
職	官	氏	名
支隊長	少將	國崎	登
副官	少佐	安田	一
副官代理	付	齊藤	春義
通信班長	大尉	茶谷	虎次

松江附近戦闘編成表		陸軍
戦闘参加部隊	戦闘不参加部隊	
支隊本部	歩兵第11聯隊第3大隊(第9中隊欠)	
歩兵第11聯隊(第3大隊第8中隊欠)	独立山砲兵第3聯隊第2中隊	
第五師團通信隊第2小隊	(第六師團昆山ノ戦闘ニ参加)	
獨立山砲兵第3聯隊(聯隊役列ノ半分及第2大隊第2中隊欠)	騎兵第5聯隊ノ2小隊	
工兵第5聯隊第3中隊第1小隊		
工兵第6聯隊ノ2小隊		
第六師團無線電信第6分隊		
第五師團衛生隊三分ノ一		
第五師團第四野戰病院		

北橋鎮附近戦闘編成表		陸軍
戦闘参加部隊	國崎支隊	
支隊本部	戦闘不参加部隊	
歩兵第百一聯隊第二大隊	歩兵第百一聯隊(才三才大隊(才中才))	
独立山砲兵第三聯隊(一中隊(一小隊欠))	第五師團通信隊第二小隊	
第五師團衛生隊(一部)	騎兵第五聯隊(一小隊)	
	独立砲才三聯隊(聯隊段列ノ半部)	
	第二大隊(一中隊(一小隊欠)ヲ欠)	
	工兵第五聯隊第二中隊第一小隊	
	工兵第六聯隊ノ二小隊	
	第五師團衛生隊三分ノ二(一部欠)	
	第五師團第四野戰病院	
	第六師團無線電信第六分隊	

0038

